

情報公開文書

患者さんへ

「人工知能(AI)と本邦専門医診療データベースを駆使した糖尿病合併症予測エンジンならびに診療提案アルゴリズムの開発と実用化」について

研究責任者:

(施設名) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学分野

(名前) 曾根 博仁

【はじめに】

多くの糖尿病患者さんの中から、将来合併症を発症する可能性が高い方とその合併症の種類を予測し、それらの合併症を防ぐのに適した治療法を患者さん毎に選択していくことは重要です。このような専門医の判断を人工知能がどこまで適切に再現できるのかを調べることは、将来的に専門医不足の僻地診療などに役立つ可能性があります。

【対象者】

2013年以降にJDDM参加施設を初診し、基本的に合併症のデータを有し、1年以上の検査、処方歴データを有するJDDM登録2型糖尿病患者さん

【対象となる患者様にご協力いただきたいこと】

該当する患者さんの診療情報を本研究に使わせていただくことです。使用する診療情報は、通常診療で得られたもののみです。

【研究に用いる試料・情報の種類】

年齢、性別、罹病期間などの背景情報や、薬剤やインスリンを含む治療歴情報、合併症情報などです。

【研究期間】

倫理委員会承認時点から2027年3月31日まで

【研究参加の辞退について】

CoDiCへのデータ提供拒否の申し出は、理由にかかわらず随時受け付けます。ただし、すでに解析に使用された過去のデータを削除することまではできません。

【研究の方法】

個人が識別できないように処理した多人数のデータを人工知能(AI)で処理し、その後に起きた合併症が予測できるかどうかを検討します。さらにその後の治療内容についても同様に検討します。

【個人情報保護の方法】

使われるデータはすべて、個人が識別できないように処理されたもののみです。データは鍵のかかるデータ解析室において、安全に保存されます。

【研究終了後の情報・データの取り扱い】

研究終了日から5年間保存した後、事務局がシュレッダーにて廃棄します。研究データは引き続き匿名化した状態で保管します。

【研究成果の公表】

糖尿病や人工知能などに関連した学会や学術誌に結果を公表予定です。

【研究実施体制】

研究責任者名： 曾根 博仁

所属先： 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科

所属先役職： 教授

【問い合わせ窓口】

この研究についてのご質問やご自身・ご家族のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合など、この研究に関することは、通院先の研究窓口担当者または下記の窓口までお問い合わせください。

○研究内容に関する問い合わせ窓口

一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会事務局

〒305-0812 茨城県つくば市東平塚 715-1

電話：029-852-1882 E-mail: info@jddm.jp